

「民安ダムサクラの森づくりの会」

■ 事業者の概要

- 所在地 : 天塩郡天塩町
- 運営主体 : 民安ダムサクラの森づくりの会
- 取組内容(分類): 景観の維持
- 【ホームページ】、【Facebook】、【Instagram】: なし



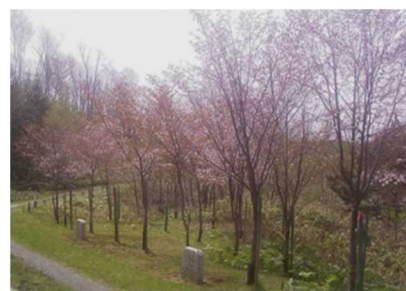
◇植樹会の様子

■ 活動経緯・内容

- 民安ダム完成時のダム関係者の植樹を契機に平成11年からサクラを植樹して町民が憩える場所として「サクラの森」を造ること目的として活動開始。
- 現在の会員は、30名と会の趣旨に賛同し一緒に活動してくれる特別会員の5団体
- 植樹参加延べ人数 2,128名(1999~2019)の21年間)
- 天塩中学校1年生の総合学習の場として植樹・保育の授業や体験を行っている。
- 最近の参加者は、100名強(中学1年生20~30名、他一般)

■ 取り組む際に生じた課題と対応方法

- 植樹したサクラがシカやネズミなどの動物被害に遭い、枯れてしまう。
⇒被害対策を施すため、手間と資材費が嵩んでいる。
- 植樹会当日はお弁当を用意して、現地滞在時間を長くし、ゆっくりサクラを見てもらう工夫をしている。
- 天塩町は樹木が育つ環境としては非常に厳しい気象状況下であり、苗木を大きなものにするのと太い添え木を用いて対策。
- 大苗木の調達については、在庫が少ないことから全国から集めるなど苦労している。
⇒以前、種から苗木の作成に挑戦したがうまくいかなかった。



◇サクラと石碑

■ 活動継続の秘訣

- 天塩町のシンボルとして、サクラの森を造るという団体の思い。
- 小中学生を巻き込むことで、長く続けられている。
- 各団体から助成金等や特別会員の会費で、苗木など用意できている。
- 俳句の会との連携(活動協力と森の中に句碑を建立)

■活動の成果

1) 活動実績(平成11年から今までに約3,000本の植樹)

項目	単位	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
植樹	本	200	200	303	150	200	200

2) 活動の成果、地域に及ぼした影響

- 植樹をした子ども達が、同窓会でサクラの森を訪れるなど、地域への愛着が芽生えている。
- 植樹で余った苗を市街地にも植えて、ダムまで行けない人を楽しんでもらっている。

■今後の展望

- 新規会員を募っていききたい。
- 1万本サクラを目指したい。
- 町外の方が植樹に参加するため、天塩町に宿泊するなど地域振興につなげていききたい。



◇出前授業の様子

●まとめ

- 長年の植樹活動により町民などが集う、いこいの森となっている。
- 子ども達を活動に引き入れることで、町に対する愛着が増している
- 植樹などの活動が全道に広がることによる更なる地域振興が期待される。



◇お話をいただいた谷村会長と事務局の阿部さん(R2.2.17取材)

